

「震災遺構検討会議 (大川小学校旧校舎)」の結果概要

平成28年11月30日

大川小学校旧校舎に関する
震災遺構検討会議(第3回)資料

震災遺構検討会議の議題

第1回

- (1)「震災遺構検討会議」の役割・スケジュール
- (2)「震災遺構整備計画」の枠組み(案)
- (3)大川小学校旧校舎の現況と震災遺構整備等に関する各種情報
- (4)震災遺構整備等に関する意見・意向

第2回

- (1)第1回「震災遺構検討会議(大川小学校旧校舎)」を振り返る
- (2)現地視察結果を確認・共有する
- (3)大川小学校旧校舎の現況と震災遺構整備等に関する情報を共有する
- (4)会議の進め方とスケジュールを確認・共有する
- (5)震災遺構(大川小学校旧校舎)整備等に関して協議する

意見の振り返り

第1回

- ・意見は、「整備する周辺施設」、「整備する運営体制」に概ね集約された。
- ・その他、「整備をする際に考慮すること」、「伝承・教育の方法」、「伝承・教育の内容」などについて意見を交換した。

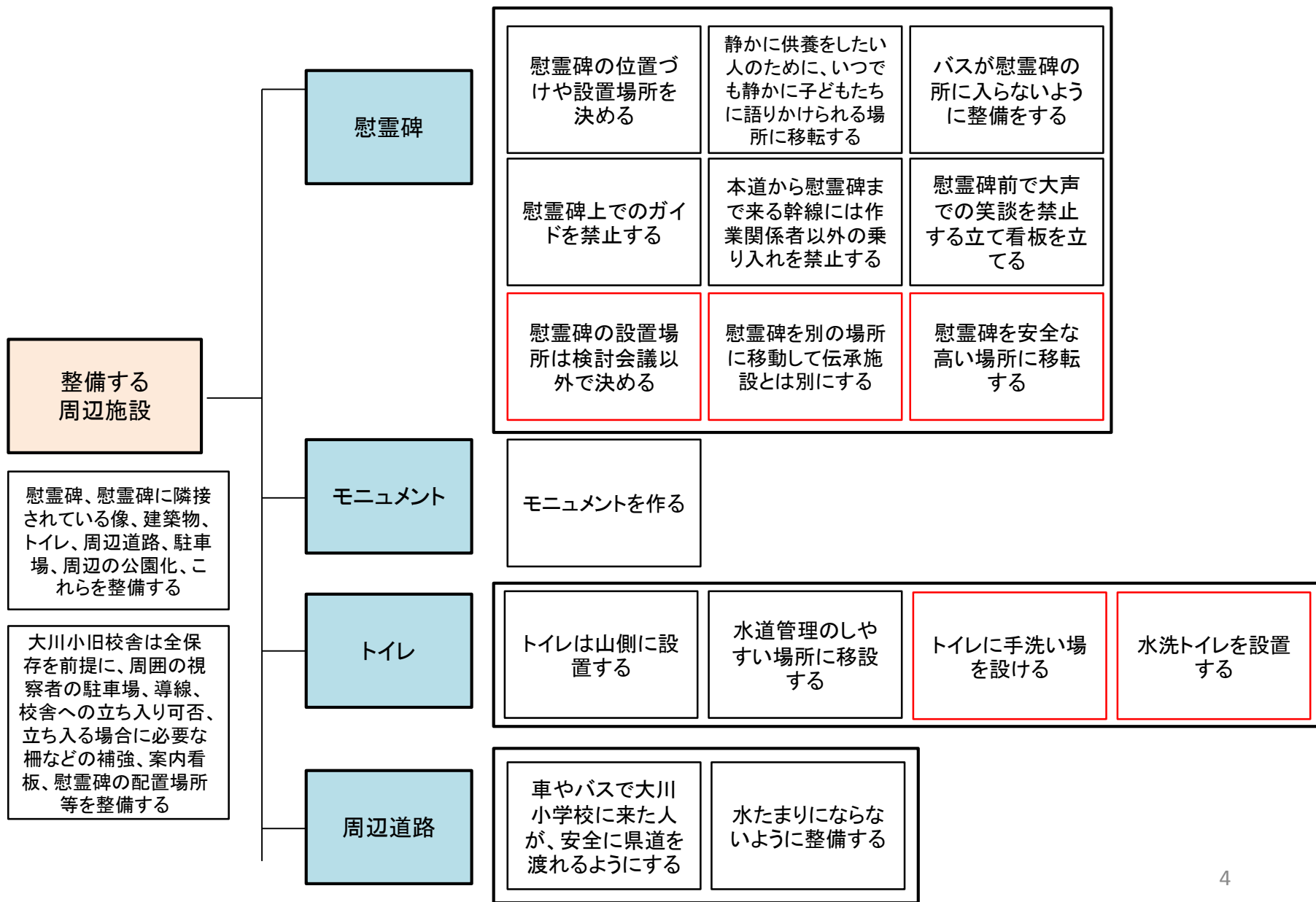
第2回

- ・第1回で出された意見を基に、「整備する周辺施設」、「何の為に残すのか・何を伝えるか」について意見を交換した。

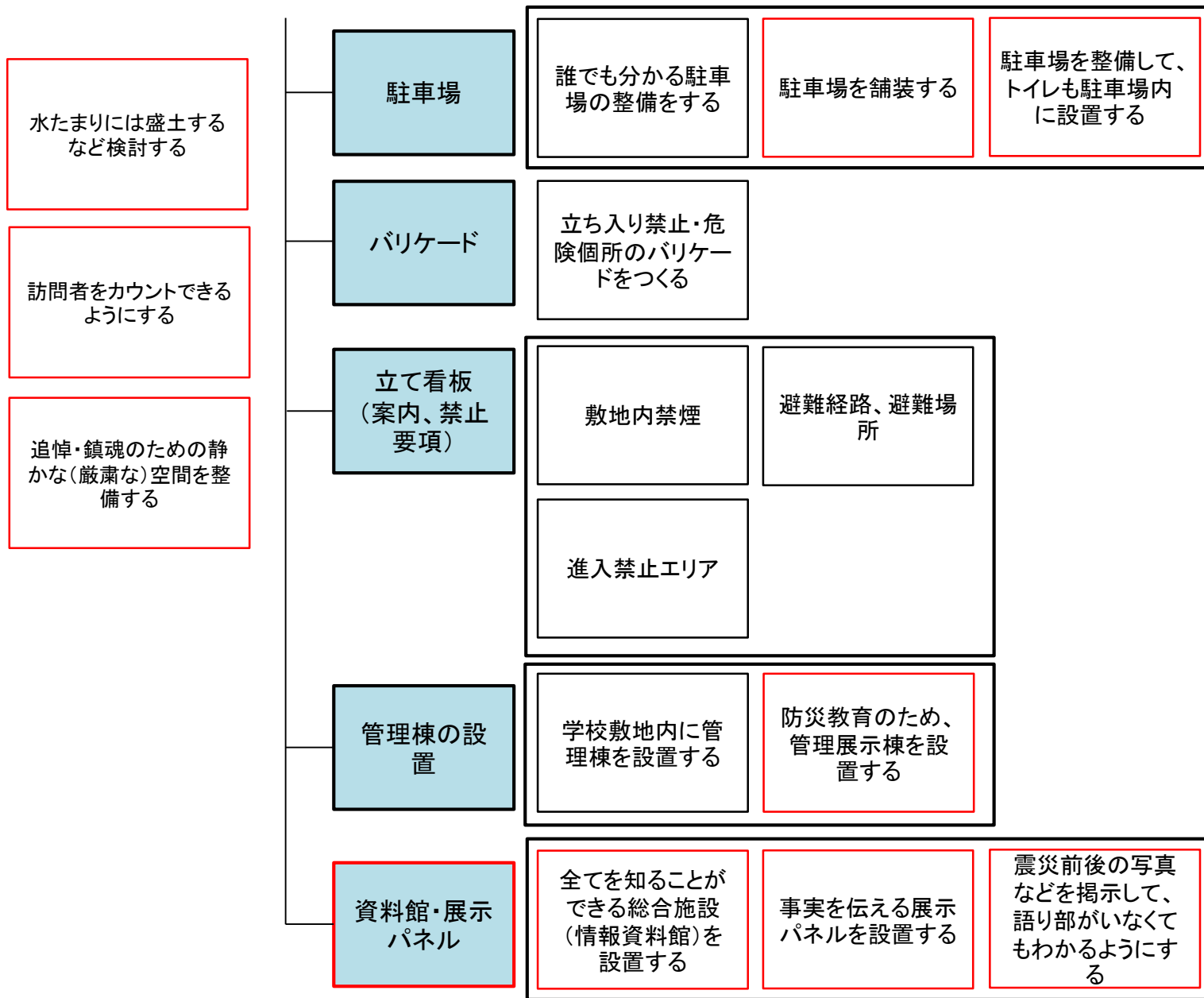
意見の分類

1. 整備する周辺施設
2. 整備する運営体制
3. 整備をする際に考慮すべきこと
4. 伝承・教育の方法
5. 伝承・教育の内容
6. 何の為に残すのか・何を伝えるか

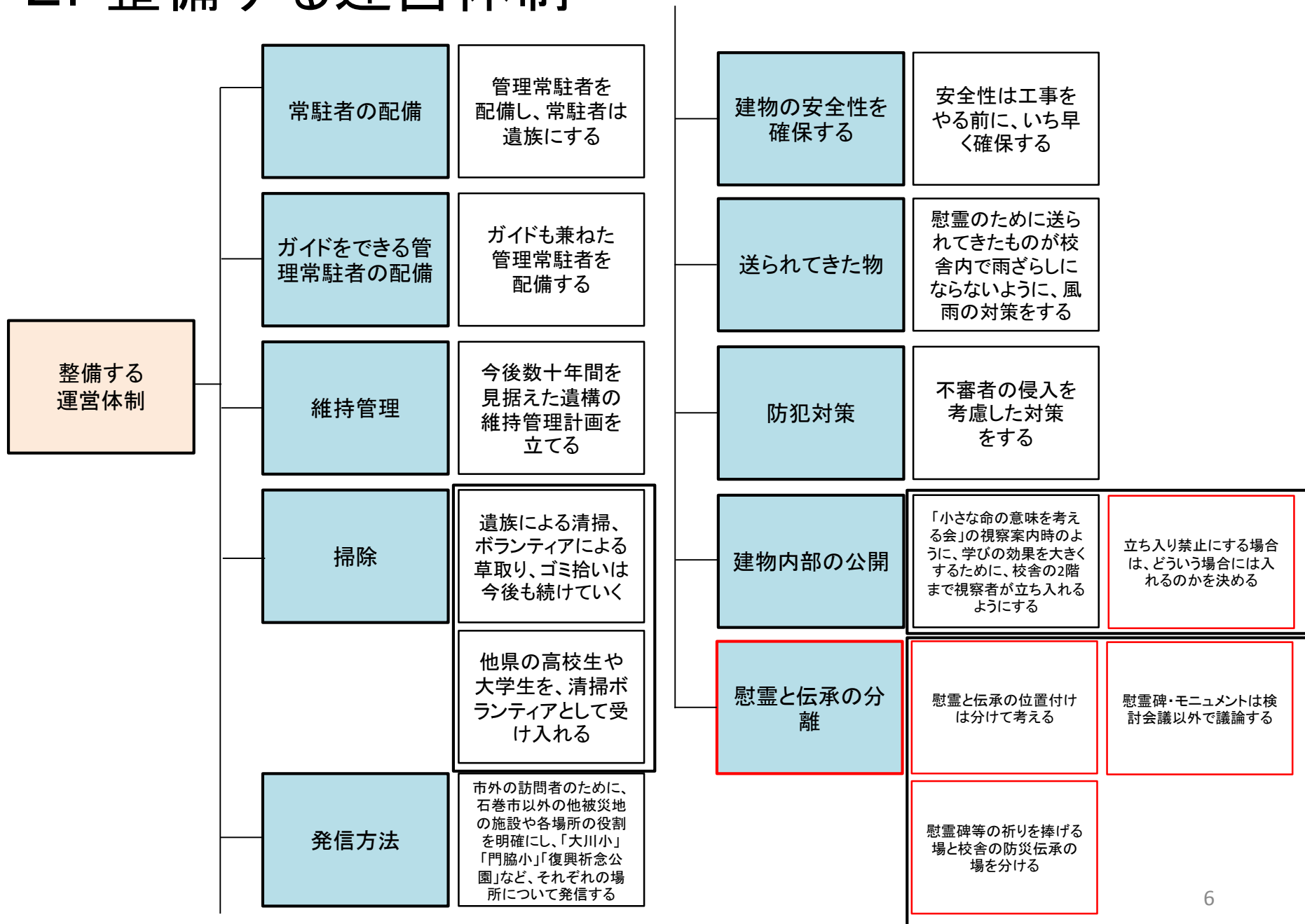
1. 整備する周辺施設



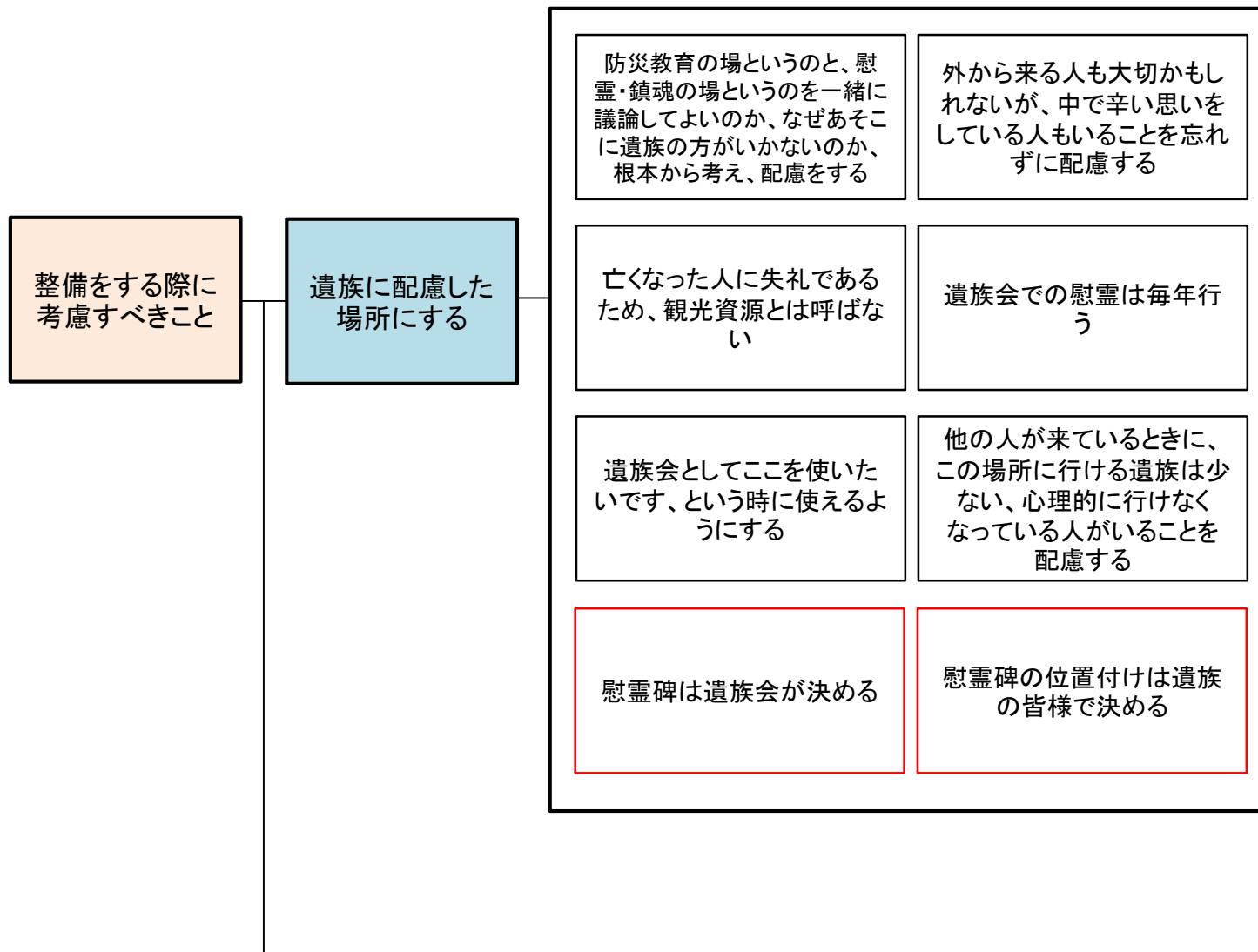
1. 整備する周辺施設



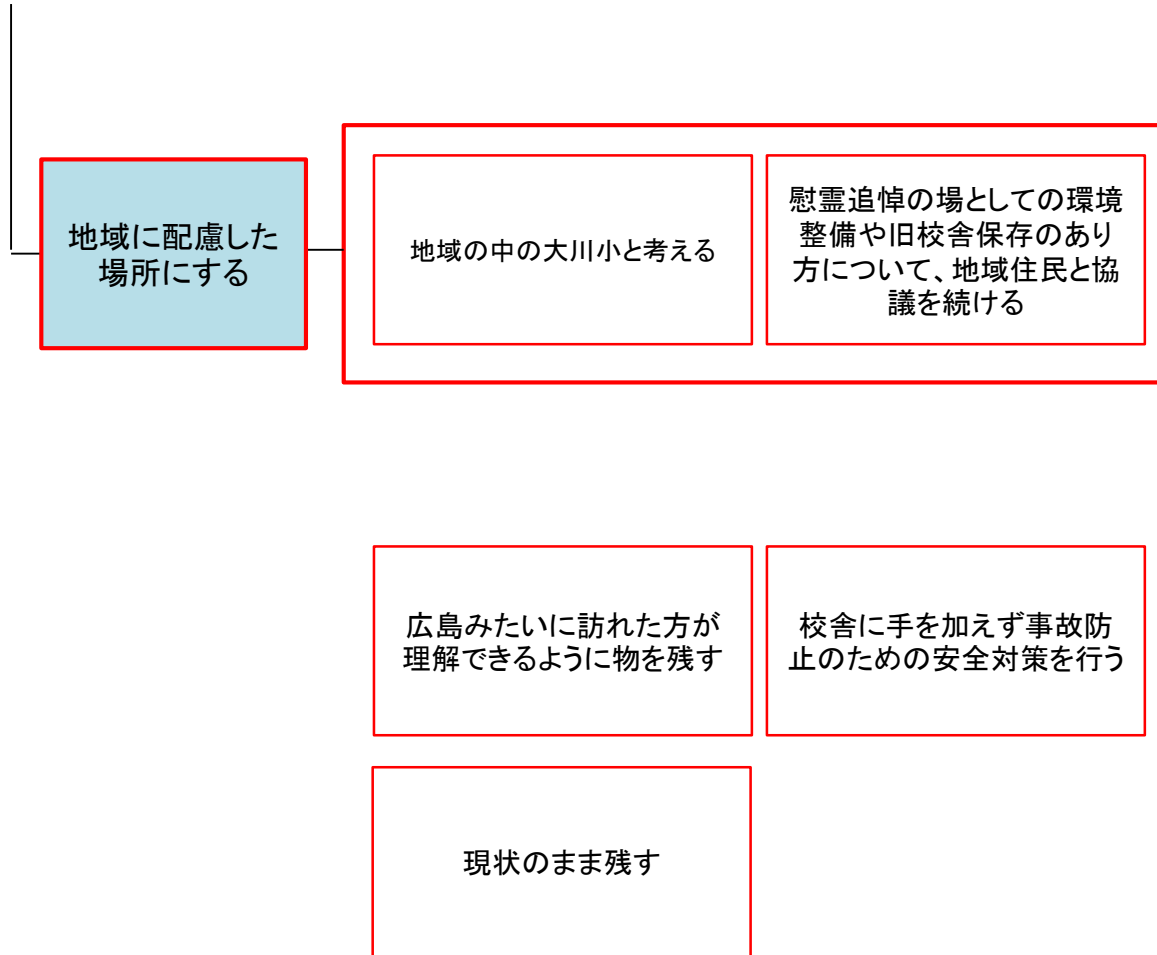
2. 整備する運営体制



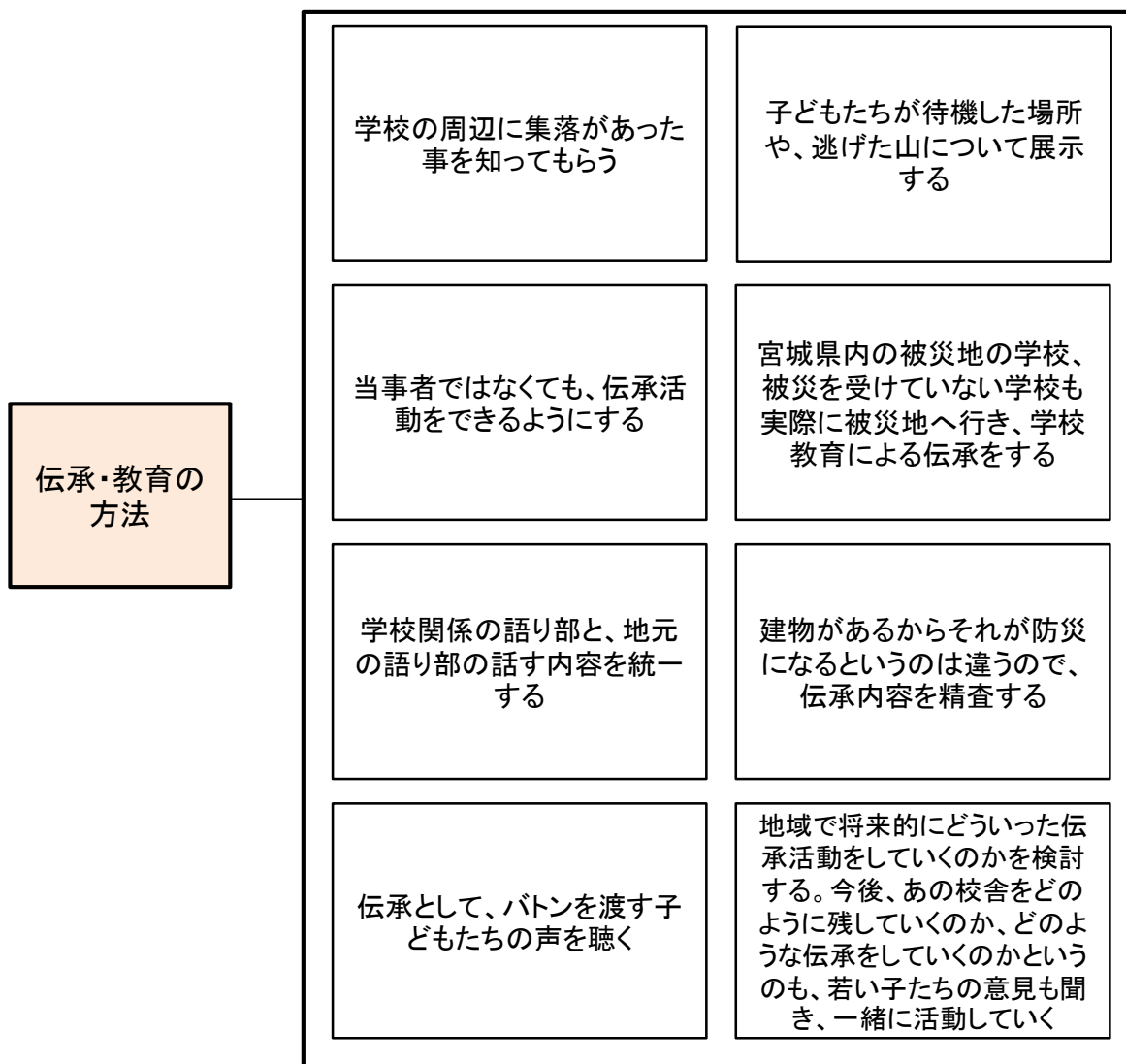
3. 整備をする際に考慮すべきこと



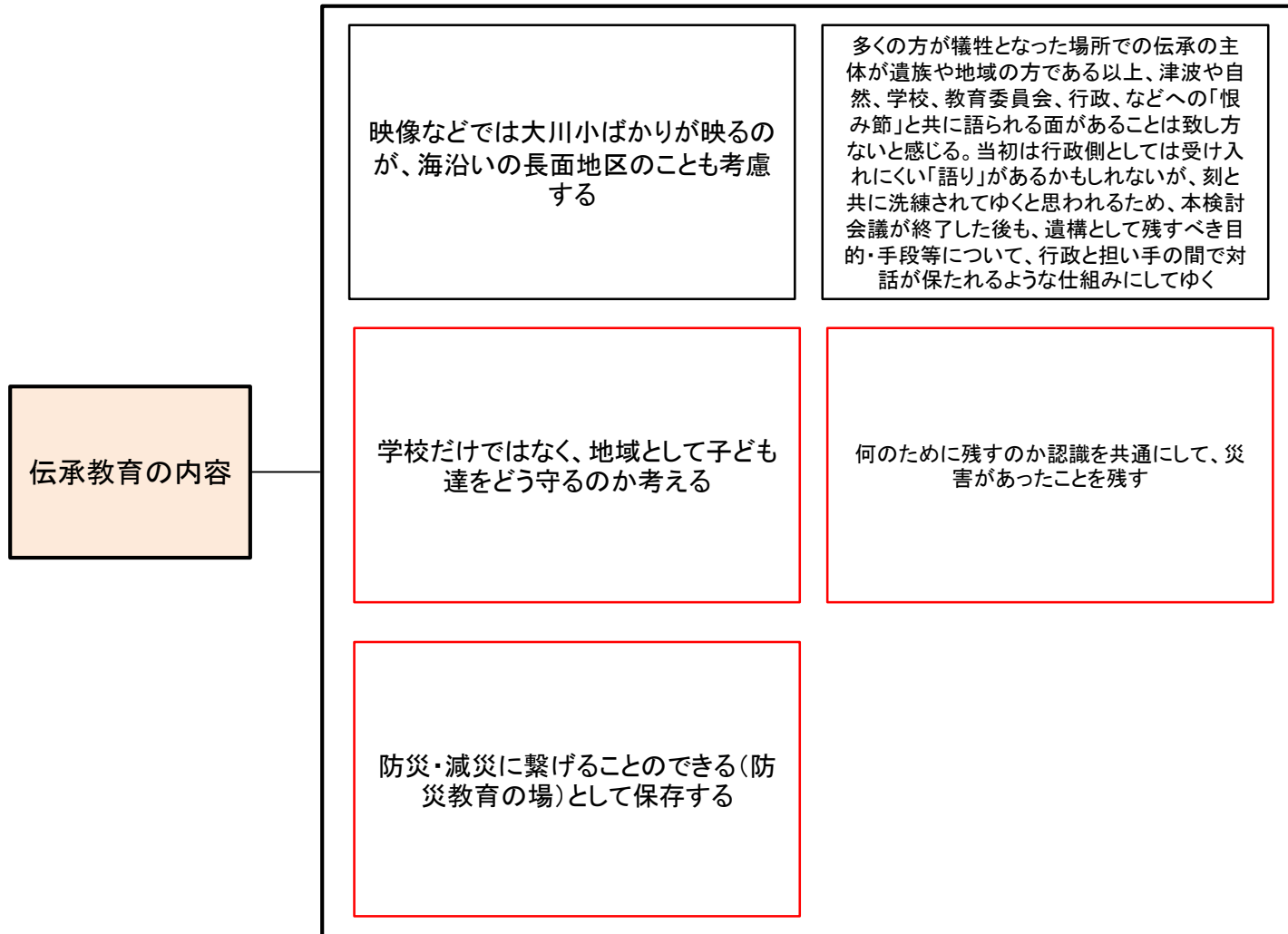
3. 整備をする際に考慮すべきこと



4. 伝承・教育の方法



5. 伝承・教育の内容



6. 何の為に残すのか・何を伝えるか

6. 何の為に残すのか・何を伝えるか

小学校の遺族会だけではなく、大川全体・釜谷地域の遺族の意見も聞く

東日本大震災の教訓を後世に引き継ぎ、防災・減災に繋げる事が出来る教育の場、多くの犠牲者を悼む慰霊と鎮魂の場にする

命を守る防災教育の場にする

防災の意識を学び、未来の命を守る

学校の教員の防災意識を学ぶ場所にする

被災校舎で防災を学ぶ

大川地区でもあまり被害がなく、ずっと住み続けている大川地区住民(入釜谷・針岡・谷地・横川・福地)の方々の意見も聞く

防災は地域住民と一緒に作り上げていくモデリングを示す

同じ悲劇を繰り返さない

真実を語り継ぎ、未来の命を守る

学校で二度と子どもが亡くなる様なことをこの国からなくす

防災教育における「地域」の大切さを伝える

6. 何の為に残すのか・何を伝えるか

全国の人たちからのたくさんの
支援に対して恩返しをする

危機意識を高める

教育者、企業経営者(管理
者)の教育を行う

釜谷の避難実態を残す

避難所として学校を残す

今後同じような悲しみ苦しみを
発生させないように、後世
に、全国に、全世界へ発信
して伝える

津波の力を見て覚えてもら
う